

【校訓】 自彊不息（じきょうやまず） 自分を磨き続ける習慣化



<p>【教育目標】 礼の心を発揮し、知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい生徒を育成する （礼の心：自分を支えてくれる相手、集団、社会、自然と心地よい関わり方を学ぶ）</p>	<p>【教師の姿勢】</p>
<p>【目指す生徒像】 自立・協働・創造 （気づき・考え・実行できる生徒） （1）自分を見つめ、まわりを見つめ”振り返り”のできる生徒 （2）共に学び、自分の考えを発信できる生徒 （3）夢や希望を持ち、実現するための努力ができる生徒（マイノートの活用）</p>	<p>師弟同行 松中愛 笑顔 生徒に寄り添う 時代に寄り添う</p>

重点目標と具体的な実践

「豊かな心」の育成	「確かな学力」の育成	「健やかな身体と活力」の育成	よりよい人間関係づくり	「信頼される学校」づくり
<p>◎道徳の時間を「要」とした道徳教育の充実を図り、「自己の生き方」を考え、主体的な判断のもとに行動し、自他を大切にしようとする心の育成</p>	<p>◎自学できる生徒の育成 ◎自己の考えを広げ深める「対話的な学び」の充実 ◎自分の考えを発信できる生徒の育成</p>	<p>◎生活リズムの習慣化 ◎夢や生きがいを育む、活気ある体づくりの推進 ◎食の指導を通して、健康に対する意識の向上</p>	<p>◎相手を理解し、自分を理解してもらう態度の育成 ◎居心地の良い集団作りの推進 ◎高め合い伸ばし合う集団作りの推進</p>	<p>◎教育活動の状況を広く公開、発信するとともに、学校内外の評価を常に経営改善に生かし、家庭・地域・専門機関・小学校との連携をもとに教育活動を展開し、信頼される学校づくりを推進</p>
<p>①道徳の授業の質の高い多様な指導法の研究の推進 （一人一実践） ②自己を見つめる「振り返り」の充実 （黙想・マイノートの実施） ③礼の心を大切にする （「思いやり」「感謝」「多様な考えを受け入れる」などの心を育成） ⑤ボランティア活動に取り組む （1回以上）</p>	<p>①言語活動の充実 ・聞く・読む・話す・書く時間設定（活動量を増やす） ・対話の授業時間を増やす （トリオ活動の充実） ②主体性を引き出す （予習・復習の習慣化） ③個に応じた学習支援を充実 （GIGAの活用） ④教え合い活動の充実 ⑤巡回図書を活用、朝読書の取組 ⑥社会から学ぼうとする場の設定 ・新聞や読書、地域活動への積極的参加</p>	<p>①生活リズムを整える （マイノートの活用） ②健康な体づくりの習慣化を目指す。 （1週間に3時間以上の運動の推進） ③給食の残菜 （0の日100%） ④「松中スマートルール」の推進（生徒会中心） ⑤学校保健委員会の開催</p>	<p>①傾聴スキルの獲得 （ペア・トリオ学習の充実） ②自分の考えを伝える機会の工夫 （発信する場の設定） ③みんなが夢や希望を実現できる環境作り（教え合い、高め合う） ④自分の役割に責任を持ち、人の役に立つ。生徒会活動の充実と時間確保。（役割の明確化） ⑤愛校心の育成 ・黙想、無言清掃の充実 ・生徒会活動、学校行事等の充実 ★松中タイムの実践</p>	<p>①HP・各種たよりの充実 （月1回以上の配布・HPの更新） ②学校開放日、部活動参観等 （学期1回以上） ③学校教育のねらいの発信（適宜） ④地域行事への積極的な参加 （年1回以上の参加） ⑤タブレットを文房具のように使える生徒の育成（授業：単元で1回以上） ⑥学校評価、いじめアンケート、学年便りの返信などへの丁寧な対応 ⑤小学校との連携を図り、9か年を見通した指導力の向上を図る （ボランティア教員の共同研修）</p>
<p>【業務改善】 ・20時までに消灯、退庁 ・週水曜日ノー残業デー 実践する教師100%を目指す。</p>				